

バッテリー ビデオライト

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
ございます。

警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

HVL-20DW

Sony Corporation © 1995 Printed in Japan

主な特長

- ・スイッチの切り換えで、1灯(10W)、2灯(20W)の使い分けが可能
- ・リチウムイオンタイプのバッテリーパック(NP-510など)を取り付けて使うビデオカメラレコーダーに、ワンタッチで取り付けられる専用アーム付属
- ・三脚やビデオカメラのアクセサリシューにも取り付け可能
- ・バッテリーパックにやさしい過放電防止機能付き
- ・リチウムイオンバッテリー仕様

主な仕様

電源	DC 7.2V	色温度	3000K
消費電力	10W/20W切替式	平均ランプ寿命	約100時間
最大光度	1灯(10W):約400cd 2灯(20W):約800cd	最大外形寸法	ライト 約8x115x64mm (幅/高さ/奥行き) アーム 約07x13x154mm (幅/高さ/奥行き)
照射方向	水平	質量	ライト 約100g (バッテリーパック含まず) アーム 約40g
照射角度	約26度	付属品	アーム(1個) 取扱説明書(1部) 保証書(1部) サービス窓口・ご相談窓口のご案内(1部) 別売りアクセサリ 交換用ハロゲンランプ XB-20DX
連続照射時間			
	バッテリーパック	1灯時(10W)	2灯時(20W)
	NP-500	約30分	
	NP-510	約35分	
	NP-710	約75分	約35分
	NP-F530	約40分	
	NP-F730	約90分	約45分

(上記はそれぞれのバッテリーパックが十分に充電されている場合の、おおよその時間を示しています。)

撮影距離	1灯時(10W)	2灯時(20W)
約1m	400ルクス	800ルクス
約3m	40ルクス	80ルクス
約5m	15ルクス	30ルクス

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- ・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて
調子が悪いときはまずチェックをこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービス窓口へ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客室ご相談センターへ
東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111



このマークは、弊社の8ミリビデオ機器関連商品の純正マークです。弊社の8ミリビデオ機器をお求めの際は同じマークもしくは弊社のロゴマークがついている8ミリビデオ関連機器をおすすめします。

警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- ・ **安全のための注意事項を守る**
- ・ **故障したら使わずに、お買い上げ店またはソニーサービス窓口**に修理を依頼する
- ・ **万一、異常が起きたら**

変な音やにおい、煙が出た場合は



- ① 電源を切る
- ② お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



警告



下記の注意事項を守らないと、**火災・感電により死亡や大けがの原因**となります。

点灯したまま放置しない

火災の原因となります。使用しないときは必ず電源スイッチを「OFF」にしてください。

バッテリーを取り付けたままケースに収納しない

万一誤ってスイッチが「ON」になると、発煙・発火の原因となることがあります。

点灯中と消灯直後のランプにさわらない

ランプ及びその周辺は非常に高温になるのでやけどの恐れがあります。ランプの交換や収納は十分に冷えてから行ってください

指定以外のランプは使用しない

火災の原因となります。

放熱孔をふさがない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。

注意

下記の注意事項を守らないと、**けが**をしたり**周辺の家財に損害**を与えたりすることがあります。

熱くなったガラスに水などをかけない

破損し、けがをすることがあります。

取り扱い上のご注意

- ・バッテリーパックはNP-F530 /F730 /500 /510 /710をご使用ください。
- ・バッテリーパックNP-F530 /500 /510では、1灯(10W)のみのご使用となります。2灯(20W)をご使用になるときは、NP-F730 /710をご用意ください。

高温のご注意
点灯中と消灯直後の前面部(ガラスやランプ)は、非常に高い温度になりますので充分ご注意ください。

- ・熱いガラスに水がかかると破損することがあり危険です。
- ・点灯中はランプを直接見ないようにしてください。強力な光は目を痛めるおそれがあります。
- ・アルコールやベンジンなど揮発性・引火性の高い薬品を近づけたり、ライトの近くに置かないでください。発火、発煙のおそれがあります。
- ・内部に液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属類を落とさないでください。そのまま使用すると、火災や事故、故障の原因となります。



紙や布などの燃えやすいものを近付けない

火災の原因となります。

湿気やほこりの多い場所では使わない

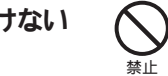
感電や火災の原因となることがあります。

アルコールやベンジン等揮発性、引火性の高い薬品を近付けたりライトの近くに置いたりしない

発火、発煙の恐れがあります。

点灯中はランプを直接見ない

強力な光は目を痛める恐れがあります。



点灯中はランプを直接見ない

強力な光は目を痛める恐れがあります。

- ・放熱孔をふさがないでください。内部の温度があがり、火災や事故、故障の原因となります。
- ・使用しないときは必ず電源スイッチを切ってください。
- ・保護カバーをはずしたままでランプを点灯しないでください。
- ・点灯中にライトにショックを与えないでください。ランプが切れたり寿命が短くなったりすることがあります。
- ・過放電防止機能により、ある一定の電圧まであがるとライトが突然消えることがあります、故障ではありません。
- ・電源を切り、バッテリーパックを再充電するか、別の充電されたバッテリーパックをご使用ください。
- ・バッテリーパックは、必ず電源スイッチを切ってから交換してください。
- ・三脚をお使いになる場合は、カメラ固定ピンが付いているビデオカメラレコーダー用の三脚をお使いください。

- ・寒いところでは、バッテリーパックを使用できる時間が短くなります。温度が低い(10.C以下)と、バッテリーパックの性能が低下するためです。より長い時間ご使用になるために、次のことをおすすめします。
- バッテリーパックをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前にバッテリービデオライトに取り付ける。…カイロをお使いになる場合は、直接バッテリーパックに触れないように、ご注意ください。
- 充電は室温(10~30.C)で、ACアダプターに取り付けて行う。

使い終わったら

- ・電源スイッチを必ず「切」にしてください。
- ・十分に冷めてから収納してください。
- ・使用しないときやケースなどに収納するときには、必ずバッテリーパックをはずしてください。

ライトの上手な当てかた

きれいな色でくっきりした画像を撮るには、明るい照明が必要です。

- ・自然な光と影があることで立体感が得られます。
- ・室内照明が蛍光灯の場合、画像にちらつきがでることがあります。ビデオライトを併用するとちらつきが消え、比較的きれいな画像になります。

被写体へのライトの当てかた

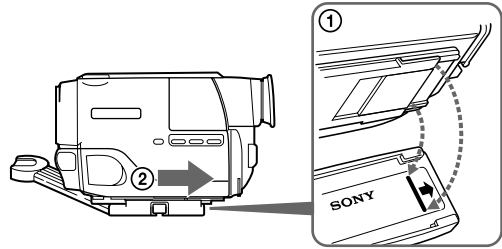
- ・逆光の場合、ライトを併用すると、被写体の大切なポイント(人物の顔など)が暗くなりません。屋外撮影では、カメラを太陽に向けてないようにします。
- ・このビデオライトは、三脚に直接とりつけて他の補助光源としても使用できます。

ライトを使う

1 アームをビデオカメラにとりつける。

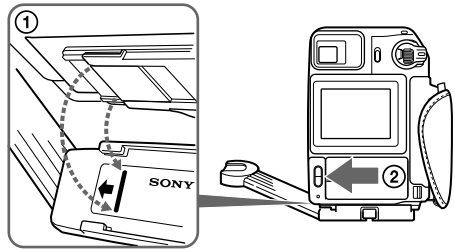
TRの場合

- ① アームのビデオカメラ取り付け面の右側にある合わせ線に、ビデオカメラの底面を下図のように合わせる。
- ② ビデオカメラを矢印(→)の方向にカチッと音がするまでずらす。



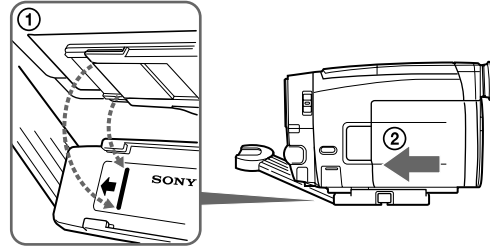
SCやRVの場合

- ① アームのビデオカメラ取り付け面の左側にある合わせ線に、ビデオカメラの底面を下図のように合わせる。
- ② ビデオカメラを矢印(←)の方向にカチッと音がするまでずらす。

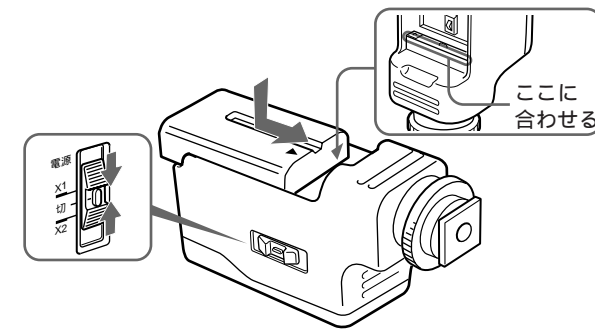


TRVの場合

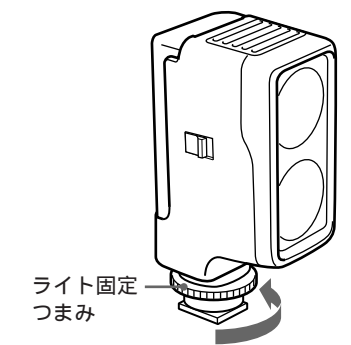
- ① アームのビデオカメラ取り付け面の左側にある合わせ線に、ビデオカメラの底面を下図のように合わせる。
- ② ビデオカメラを矢印(←)の方向にカチッと音がするまでずらす。



2 電源スイッチが「切」になっていることを確認してから、充電したバッテリーパックを、下図のようにバッテリーパック取り付け面に合わせて取り付ける。

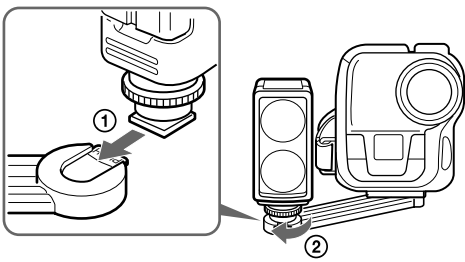


3 ライト固定つまみをゆるめる。

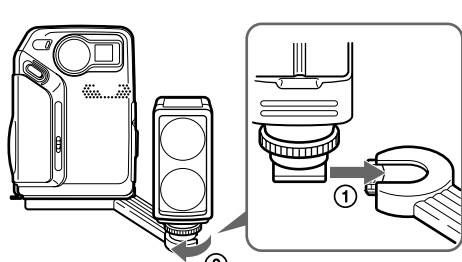


4 ① アームにライトを差し込み、② ライト固定つまみを締めてアームに固定する。

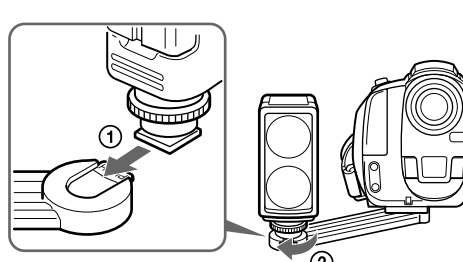
TRの場合



SCやRVの場合

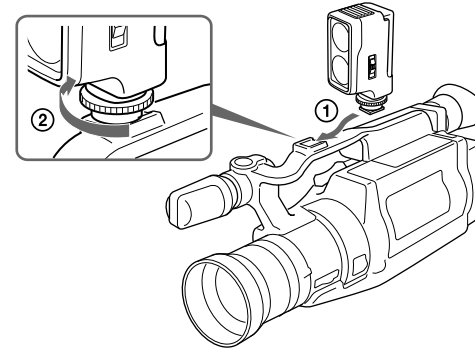


TRVの場合

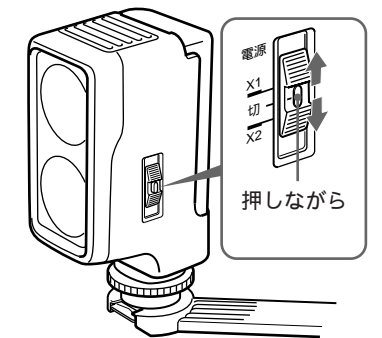


アクセサリースュー付きのビデオカメラの場合

下図のように、アクセサリースューにビデオライトを直接取り付ける。



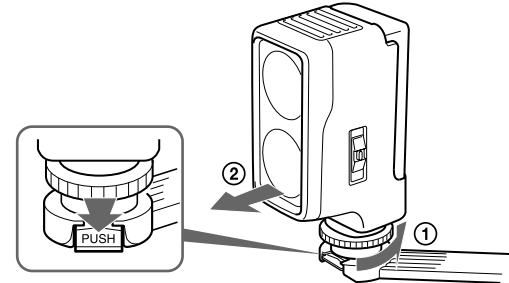
5 電源スイッチを「x1」または「x2」にする。ライトが点灯します。



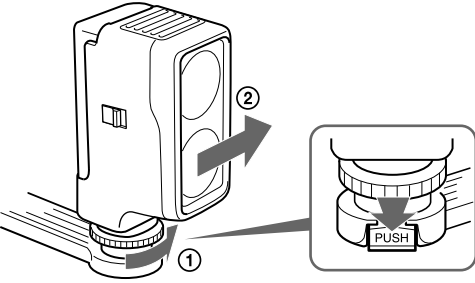
ライトをはずす

- ① ライト固定つまみをゆるめる。
- ② ライト取りはずしボタンを押したまま、ライトを矢印の方向にずらしてはずす。

TRやTRVの場合

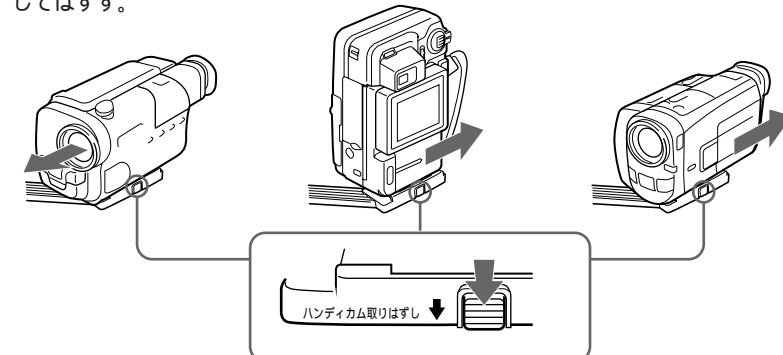


SCやRVの場合



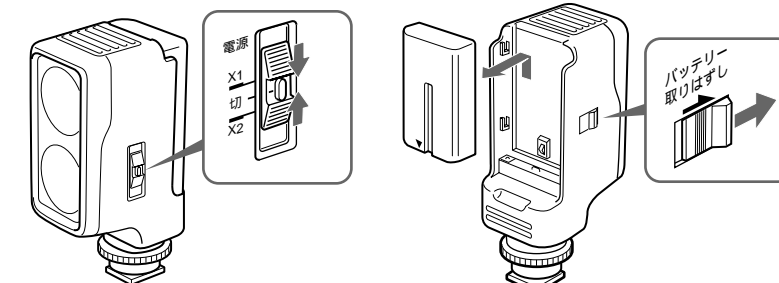
アームをはずす

ハンディカム取りはずしボタンを押しながら、ビデオカメラを矢印の方向にずらしてはずす。



バッテリーパックをはずす

- ① 電源スイッチを「切」にする。
- ② バッテリー取りはずしボタンを押しながら、矢印の方向にバッテリーパックをずらしてはずす。



電源についてのご注意
ライトに取り付けたバッテリーパックで、ビデオカメラを動作させることはできません。ビデオカメラを動作させるときは、ビデオカメラにも電源を取り付けてください。

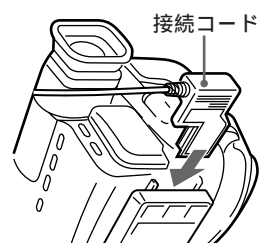
ライトについてのご注意
バッテリーパックNP-F530 / 500 / 510では、1灯しか使えません。

ビデオカメラをコンセントにつないで使う場合

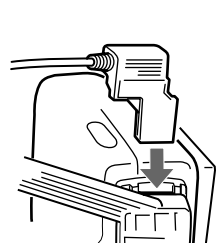
アームをビデオカメラに取り付けたまま、ACアダプターをビデオカメラにつないで使うことができます。ビデオライトをお使いになるときは、ビデオライトにバッテリーパックを取り付けてください。

ACアダプター(別売り)に付属の接続コードを、ビデオカメラの底部にある取り付け面に差し込みます。

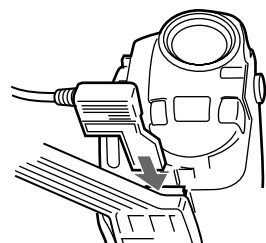
TRの場合



SCやRVの場合



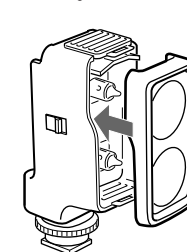
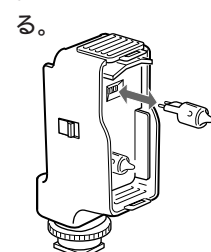
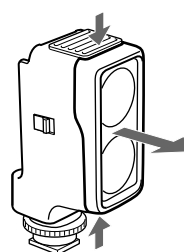
TRVの場合



ランプを交換するには

交換用ランプはソニーハロゲンランプXB-20DXをお使いください。

- ① 本体の上下を押さえて、保護カバーをはずす。
- ② ランプの根元をもって、新しいランプと差し換える。
- ③ 保護カバーをはめる。



ご注意

- ・ランプが点灯中は、保護カバーは高温になっています。カバーが冷えてから開けてください。
- ・点灯中に切れたランプは高温になっています。ランプが冷えてから交換してください。
- ・新しいランプは直接手で触れずに、乾いた布などでくるんで取り付けてください。ランプの表面に指紋や汚れが付いたときは、きれいに拭きとってください。ランプの寿命が短くなる原因になります。

・新しいランプに差し換えるときは、穴に向けてまっすぐに差し込んでください。

ライトのお手入れ

時々、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少しふくませた布で拭いてから、もう一度から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。